



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

> 基本的な考え方

> 体制

> KPI

健康寿命延伸への寄与

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

健康・栄養

基本的な考え方

「かがやく“笑顔”」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。

森永乳業は、健康寿命の延伸や乳幼児がすこやかに成長するために、健康・栄養に寄与する商品の開発・販売を中核事業と認識しています。

健康・栄養は、「お客さまのすこやかな“笑顔”あふれる幸せな生活に貢献したい」という想いが起点です。赤ちゃんの健康のため、母乳の研究から広がったビフィズス菌やラクトフェリンの研究など、当社が長年研究を続けている栄養機能性素材が持つ有用性や可能性を探索してきました。

KPI

活動の方向性	KPI	KPI進捗状況の詳細
健康寿命延伸に対する貢献	栄養機能性素材を取り入れた商品の市場投入	「健康のセルフマネジメント」を応援する商品の投入 ・プロテインニーズに対応した商品の拡充：プロテインドリンク「in PROTEIN」、「ギリシャヨーグルト パルテノ プレーン砂糖不使用」のプロテイン(たんぱく質)増量 ・機能性表示食品の拡充：腸内環境を改善するビフィズス菌BB536を配合した「ビヒダス ヨーグルト 便通改善」、腸内でビフィズス菌を増やすラクチュロースを配合した「毎朝爽快Light」等(▶P.28)
	健康維持に寄与する栄養機能性素材についての情報発信	「健康サポート栄養士」による、健康セミナービジネスの本格化 ・「ビフィズス菌トレプロジェクト」ビフィズス菌等に関する健康情報発信による生活者の健康意識向上と行動変容を促進(▶P.29) 「シンポジウムや展示会など」健康寿命延伸に関する研究情報、論文のリリース 計15件(▶P.30) レシピの発信等 55件
乳幼児の健やかな成長への貢献	ビフィズス菌(M-16V)の提供。国内外で120以上の施設での提供継続	国内外の低出生体重児への「ビフィズス菌M-16V」の提供 ・NICU(新生児集中治療室)などへ、国内外延べ150以上の施設での提供(▶P.32)

育児用ミルクや特殊ミルクをはじめ、ヨーグルト、医療食・介護食などのさまざまな商品は、人々の健康と笑顔に役立っています。

そして、これからは国内外のさまざまな人々の健康と栄養に寄与することを目指し、挑戦を続けていきます。

体制

KPIの進捗、確認、報告は年に2回のサステナビリティ委員会(委員長:社長)にて行います。また、「重要取組課題:健康・栄養」の責任者を関係本部の本部長が担い、KPIの推進責任者を関係部署の部長が担い、PDCAサイクルを回していきます。

また、健康・栄養は、中核事業そのものとの認識から、研究所、マーケティング部門、営業部門、生産部門が部門を横断して連携し、推進していきます。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

▶ **健康寿命延伸への寄与**

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

● **環境**

● **人権**

● **供給**

● **次世代育成**

● **人財育成**

● **コーポレート・ガバナンス**

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

健康寿命延伸への寄与

森永乳業では、「人生100年時代」に向けて、健康寿命の延伸をテーマに商品の研究・開発を進めています。健康でハツラツとした人生を送るために、栄養機能性素材を活かした商品を研究・開発し、お客さまに提供していきます。

「ビヒダス ヨーグルト」(特定保健用食品)

50年前、赤ちゃんの大腸から発見された「ビフィズス菌BB536」。

ビヒダスは、乳酸菌に加えて、大腸まで届く「ビフィズス菌BB536」を配合しています。

酸味を抑えたまろやかな味わいでおいしく、健康な毎日をサポートします。



「ビヒダス ヨーグルト 便通改善」(機能性表示食品)

「ビフィズス菌BB536」を20億個配合した、機能性表示食品です。「ビフィズス菌BB536」には、大腸の腸内環境を改善し、便秘気味の方の便通を改善する機能が報告されています。



「トリプルヨーグルト」(機能性表示食品)

血圧・血糖値・中性脂肪に関する3つの機能性を表示したヨーグルトです。トリペプチドMKP[®]が高めの血圧(収縮期血圧)を下げ、難消化性デキストリン(食物繊維)が食後の血糖値・中性脂肪の上昇を穏やかにします。



「医療食・介護食」

森永乳業グループでは、高齢者や病気の方も食の喜びを感じることで、「Quality of Life(生活の質)」を維持できるよう、おいしさ、栄養価、安全性、食べやすさなどに細やかに配慮した医療食・介護食の研究開発に取り組んでいます。

医療・介護現場の声を基に、森永乳業グループの株式会社クリニコと、森永乳業の研究所が連携して、流動食、栄養補助食品(飲料、ゼリーなど)、プロバイオティクス食品、物性調整食品などの医療食・介護食を開発・販売しています。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

➤ **健康寿命延伸への寄与**

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

栄養機能性素材・研究成果等に関する情報発信

森永乳業グループは、栄養機能性に関する研究成果をはじめとするさまざまな情報を、お客さまはもちろん、お取引先をはじめとしたさまざまなステークホルダーに向けて発信しています。

【ビフィズス菌トレプロジェクト】

2020年6月に始動した「ビフィズス菌トレプロジェクト」は、ビフィズス菌と知識・食事・運動・こころを組み合わせる毎日の生活に取り入れていただくことで、カラダとこころの両面から大腸の腸内環境改善を目指すプログラムです。

トップアスリートでありプロサッカー選手である長友佑都さんや、新体操選手の皆川夏穂さん、大岩千未来さん等をプロジェクトにお迎えし、ビフィズス菌を通じた腸内環境と全身の健康のサポートを行っています。

また、次世代育成の視点から一般の女子大学生向けのプログラムも展開し、「ビフィズス菌トレ」の裾野を広げています。

これからも、健康的な生活に関心のある方々に向け、ビフィズス菌や腸内フローラに関する正しい知識と、カラダとこころの両面を健康にする有用な情報をお届けし、皆さまの健康をサポートしていきます。



【健幸サポート栄養士による健康セミナー事業】

森永乳業グループでは「全世代の健康で幸せな毎日の実現へ」をテーマに、「次世代ヘルスケア事業」の基盤構築を進めています。この事業では、デジタル・EC等のチャネルを活用した、より長期的な視点での健康課題に対応する商品やサービスの提供を目指しています。

その中で、2021年1月、特別な研修を受けた栄養士が健康で幸せな毎日を送るためのヒントをお伝えする新サービス「健幸サポート栄養士」事業をスタートしました。健康経営を進める法人や、自治体、教育団体を対象にした、腸内フローラや免疫力、たんぱく質等に関する健康情報を提供するセミナー型のサービスです。

2020年度は、社外向けセミナー（約8,000名参加）、従業員向け健康セミナー（約1,700名参加）を実施しました。

今後も、森永乳業の半世紀以上にわたる健康に関する研究の中で培われた情報を、「健幸サポート栄養士」がセミナーを通じてわかりやすくお届けしていきます。



笑顔の毎日をいっしょに。
健幸サポート栄養士

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

▶ **健康寿命延伸への寄与**

▶ **乳幼児の健やかな成長への貢献**

公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

【シンポジウムや展示会】

（国内）

2020年度は新型コロナウイルスの感染
拡大の影響により、多くの学会が中止ま
たは延期となったなか、学会発表25件、
論文投稿51件を実施しています。

2021年2月には、北海道大学、日立製
作所とともにCOI『食と健康の達人』拠
点の岩見沢市における低出生体重児減の

プロジェクトで第3回日本オープンイノベーション大賞 日本学術会議会長賞
を受賞しました。

2019年6月に開設した松本短期大学の寄附講座では、本年度も主に以下3つ
の取り組みを推進しています。

①松本市、松本短期大学、森永乳業の共同で、市民の健康意識を高めるための
取り組みとして、市民講座などを積極的に開催する。②松本短期大学の学生を
対象に食の健康増進効果を理解するための学習プログラムを提供する。③森永
乳業が有する独自素材の健康増進効果を共同で検証し、信頼性の高いエビデ
ンスを確立するとともに、そこで得られた結果を発信する。

（海外）

2020年度は新型コロナウイルスの世界的大流行により、海外でこれまで開催
されていたシンポジウムや展示会はすべて中止となりました。

従来の情報発信手法からの抜本的な見直しを迫られる中、当社は海外のパート
ナー企業と協力し、海外ウェビナーやバーチャル展示会、さらにはSNSを活
用した情報発信に取り組んでいます。

2020年9月にオンラインで開催されたVitafoods Europe Virtual Expo
に出展しました。ヨーロッパ初、そして唯一の栄養補助食品関連のバーチャ
ルイベントである本展示会では、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、MILEI社と共同で当社プロバイオティクス製品に関する情報発信を行いました。また、Nutra Ingredients-Asia.comが主催するNutra Ingredients-



「日本学術会議会長賞」を受賞

Asia Awardsでは、2年連続で「Infant & Child Nutrition Initiative of the
Year」（乳幼児栄養賞）」を受賞しました。

このような活動を通してヒト由来ビフィズス菌や乳酸菌の存在感と価値拡大に
努めています。



2年連続で「乳幼児栄養賞」を受賞

乳幼児の健やかな成長への貢献

森永乳業は、乳幼児のすこやかな成長・発達に貢献したいという思いから、
1920年代より育児用ミルクの研究・開発を行うとともに、より母乳に近づけ
るべく、たんぱく質や脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラルといった栄養素や
ラクトフェリンなどを配合した育児用ミルクの研究に取り組んできました。

近年、日本国内はもちろんのこと、海外の子どもたちの健やかな成長と発達に
寄与するため、アジアを中心に育児用ミルク事業を展開しています。

これからも、母乳に備わる「育む力」と「守る力」に関する研究・開発を続けて
いきます。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

健康寿命延伸への寄与

➢ **乳幼児の健やかな成長への貢献**

公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

アジアで栄養インフラ構築に貢献

東南アジアを中心とした新興国では、急速な人口増加・都市化が進んでいます。都市部に人口が集中するほど、安全で高品質な食料・食品を供給する「栄養インフラ」の構築が重要な課題となります。その課題解決の一端を担うことは、私たち食品企業の社会的使命ともいえます。

森永乳業では、育児用ミルクの供給を重要な「栄養インフラ」の一環と捉えています。日本をはじめ、インドネシア、パキスタンなどの海外製造拠点で育児用ミルクを製造し、インドネシア、パキスタン、マレーシア、ベトナムなどを中心に展開しています。森永乳業グループは母乳代替品のマーケティングポリシーに基づき、世界の子どもたちがすこやかに成長できる環境づくりへの貢献を目指しています。

REPORT ▶「母乳代替品(BMS)マーケティングポリシー」P.94参照

育児用ミルクの海外への展開



Topics

NutriCo Morinaga社における粉乳製品の製造・販売

森永乳業では、40年以上にわたって育児用ミルク等をパキスタンに輸出し現地代理店を介して販売しています。2017年3月に当社、ICI社、Unibrands社との合弁で、現地製造・販売のためにNutriCo Morinaga社を設立して工場を建設し、2019年11月より同社での事業を開始、現在は従来の輸入品に加え、パキスタン国内の製造品も同国の消費者の方々にお届けしています。当社の安全・安心・高品質な製品をパキスタンのより多くの方々にお届けし、健康に貢献していきます。



NutriCo Morinaga

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- **健康・栄養**
 - 基本的な考え方
 - 体制
 - KPI
 - 健康寿命延伸への寄与
- **乳幼児の健やかな成長への貢献**
 - 公衆衛生の向上
 - 森永乳業の栄養機能性素材
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

国内外の低出生体重児への「ビフィズス菌 M-16V」の提供

通常、健康に生まれた赤ちゃんの腸内フローラはビフィズス菌が優勢です。しかし、出生時の体重が1,500g未満の極低出生体重児または超低出生体重児はビフィズス菌の定着が遅れ、大腸菌や黄色ブドウ球菌などの悪い菌がふえてしまいます。森



永乳業では、病院や大学と共同研究を進め、独自に開発した「ビフィズス菌 M-16V」を極低出生体重児または超低出生体重児に投与することで、ビフィズス菌優位な腸内フローラをより早く形成し、新生児に発症すると危険な壊死性腸炎や敗血症を予防できることがわかってきました。

現在ではNICU（新生児集中治療室）や小児科など、全国150以上の施設に提供されており、多くの赤ちゃんの健全な成長を支えています。また、「ビフィズス菌 M-16V」による低出生体重児への効果は、学会や論文を通じて海外にも伝わり、2012年よりオーストラリアのNICUでも使用されています。さらに近年では、ニュージーランド、シンガポールのNICUでも使用がはじまりました。森永乳業では、引き続き世界中の赤ちゃんの健全な成長を支えていきたいと考えています。

「ビフィズス菌 M-16V」の提供実績

	2016	2017	2018	2019	2020
国内（包）	171,000	197,000	210,000	236,000	229,000
海外（包）	43,000	62,000	75,000	77,000	36,000

※海外については1月1日～12月31日にて集計した数値を掲載

日本初[※]のビフィズス菌入り調製粉乳

2020年に育児用ミルク製造100周年を迎えました森永乳業では、離乳食で不足しがちな栄養を補うための調製粉乳に日本で初めて[※]“生きた”ビフィズス菌「M-16V」「BB536」を配合しました。ラクトフェリンや3種のオリゴ糖も配合し、元気なからだづくりをサポートします。腸内環境からお子さまの健康をさらにサポートするため、引き続き研究開発を続けてまいります。



※ Mintel GNPDを使用した森永乳業（株）調べ。2020年7月、日本国内で製造されている乳幼児向け調製粉乳において

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

●健康・栄養

基本的な考え方

体制

KPI

健康寿命延伸への寄与

➢ 乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

●環境

●人権

●供給

●次世代育成

●人財育成

●コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

特殊ミルク

森永乳業では、育児用ミルクを製造・販売する会社として、日本国内向けにミルクアレルギーなどをお持ちのおさまが安心して飲んでいただける育児用ミルクの販売や、先天性代謝異常症などの疾患に個別に対応した特殊ミルクを医療機関に提供しています。

市販の特殊ミルク

ミルクアレルギーや乳糖不耐症、胃食道逆流症、低出生体重児のおさま向けの特殊ミルクを提供しています。



市販の特殊ミルク

商品名	特徴
森永ニュー MA-1	たんぱく質を高度に消化し、アレルギー性を著しく低減したミルクアレルギー用のミルク
森永 MA-mi	アレルギー性を低減しながら、「栄養バランス」「風味」「溶け」を改善したミルクアレルギー用のミルク
森永ノンラクト	一般の育児用ミルクで下痢などをおこす乳糖不耐症のおさま用無乳糖ミルク
森永 AR ミルク	天然由来のトロミ成分（ローカストビーンガム）を配合し、ミルクの粘度を高くした、胃食道逆流症のおさま用のミルク
森永 GP-P*	低出生体重児用のミルク

※病院・医療施設に直接納入する商品

先天性代謝異常症等のおさま用のミルク

先天性代謝異常症等のおさまの栄養補給に欠かすことのできない特殊ミルクを、安全開発委員会※の指導のもと、医療機関に提供しています。

先天性代謝異常症は、重篤な疾患ですが、新生児の早期に発見し、食事療法などをはじめれば、多くのおさまが健康に成長できます。そのためには、それぞれの疾患に合わせて、たんぱく質やリンなどの特定の成分をミルクから低減する特別な処理を行う必要があります。このような特別なミルクには、高度な製造技術が求められるため、森永乳業が長年培ってきた、乳幼児栄養に関する知識と経験が大いに活かされています。2020年度は年間約5,100缶が約180名の患児・患者に提供されました。



※安全開発委員会

先天性代謝異常症のおさまの治療に使用される特殊ミルクを改良開発し、安定的に提供するため、昭和55年に厚生省（当時）の指導と公費の助成のもとに「特殊ミルク共同安全開発事業」が立ち上がりました。この事業では、特殊ミルクに必要とされる一定の基準を制定し、その品質、成分、使用法などを定めるとともに、特殊ミルクの改良および開発や安定供給を行っています。同時に、この事業を円滑に運営する機構として、学識研究者と特殊ミルク提供会社の研究所長等からなる「安全開発委員会」が発足しました。

先天性代謝異常症等のおさま用の特殊ミルクの種類

分類	主な適応症	記号	品名
たんぱく質・アミノ酸代謝異常	フェニルケトン尿症	MP-11	低フェニルアラニンペプチド粉末
電解質代謝異常	副腎皮質機能不全	MM-2	低カリウム乳
	心、腎疾患	MP-2	低蛋白質低塩乳
	特発性高カルシウム血症	MM-4	低カルシウム乳
	・副甲状腺機能低下症 ・偽性副甲状腺機能低下症 ・腎疾患	MM-5	低リン乳
	吸収障害	脂質吸収障害症	ML-1
その他	・嚢胞性線維症 ・シトリン欠損症	ML-3	蛋白質加水分解 MCT 乳

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

健康寿命延伸への寄与

➢ 乳幼児の健やかな成長への貢献

➢ 公衆衛生の向上

森永乳業の栄養機能性素材

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

母乳添加用粉末

母乳添加用粉末は、極低出生体重児のために、母乳の栄養分を強化することを目的としており、「HMS-1」「HMS-2」を提供しています。

体重1,500g未満の極低出生体重児は、消化吸収機能などの体の機能が未発達で合併症などを起こしやすい状態です。そのため、十分な栄養摂取により、身体の機能を早く発達させる必要がありますが、このような赤ちゃんは母乳だけではカロリーやさまざまな栄養素が相対的に不足してしまいます。「HMS-1」および「HMS-2」は、お母さんの母乳だけでは不足してしまうたんぱく質、カルシウムやリンなどの微量元素を強化する他、「HMS-2」では熱量も高めることで、赤ちゃんのより早い成長を促すことができます。2020年度は「HMS-1」（約1万5千箱）と「HMS-2」（約1万箱）の合計で2万5千箱を販売しました。

※「HMS-1」は100包/箱、「HMS-2」は60包/箱



公衆衛生の向上

ピュアスターでの健康への寄与

微酸性電解水生成装置「ピュアスター」は、高い殺菌効果と安全性の両立を目指して森永乳業が開発した衛生管理装置です。20年以上前に販売を開始し、2021年3月末までに約7,500台以上の販売実績があります。

「ピュアスター」は、食品添加物の殺菌料「次亜塩素酸水」規格範囲に生成することも可能な装置で、一般に殺菌に使われている消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウムとは異なり、肌への影響が少なく、さまざまな安全性が確認されています。種々の食中毒菌や、食品衛生をおびやかす微生物への殺菌効果が実証されており、衛生管理を必要とするいろいろな現場で有効です。

すでにお使いいただいているお客さまからも「殺菌料なのに水道水のように気軽に使え、現場での衛生管理に欠かせなくなっている」とご好評をいただいています。

森永乳業が目指すのは、長年培ってきた衛生管理の技術を社会へ還元し、人々の健康的な生活を守ること。現在もさまざまな使い方の開発を繰り返し、新たな貢献を生み出す努力を続けています。

また、「微酸性電解水（次亜塩素酸水）を利用して社会のさまざまな課題を解決する研究」を公募。大学・研究機関などと連携して、積極的に社会貢献に取り組んでいます。2020年度は1テーマに対し補助金の出資を行いました。



微酸性電解水生成装置
「ピュアスターミュークリーンII」



食品衛生の維持に貢献しています

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

健康寿命延伸への寄与

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

● **森永乳業の栄養機能性素材**

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

森永乳業の栄養機能性素材

森永乳業は50年以上にわたり、健康維持に関わる素材の研究を行ってきました。

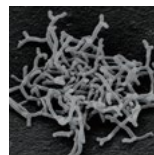
その結果、乳児からお年寄りまで幅広い世代の方々の健康に寄与できることがわかりました。

「ビフィズス菌」

森永乳業は長年、乳児のすこやかな成長のために母乳と乳児栄養、腸内フローラの研究に取り組んできました。1969年に「ビフィズス菌BB536 (*Bifidobacterium longum* BB536)」を発見し、1971年にビフィズス菌を乳製品へ応用することに成功しました。一般的に、ビフィズス菌は酸や酸素に弱い生き物です。しかし「ビフィズス菌BB536」はヒトの消化管に住む種類のビフィズス菌の中では、酸や酸素に強く、生きたまま大腸に到達することが報告されています。

いまでは「ビフィズス菌BB536」「ビフィズス菌MCC1274」「ビフィズス菌M-16V」などを保有し、幅広い研究成果を発表し、日本におけるビフィズス菌研究のパイオニアを自負しています。ビフィズス菌を使用した商品開発においてはヨーグルトなどにとどまらず、ビフィズス菌を粉末化したサプリメントなどへも展開されています。生きた菌を生きたまま粉末状態にし、室温で長期間安定化させる技術は森永乳業にとって大きな強みになっています。

また、「ビフィズス菌BB536」「ビフィズス菌M-16V」はアメリカ食品医薬品局(FDA)の安全審査制度においてGRAS (Generally Recognized As Safe) を取得し、アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアなど世界のさまざまな地域で利用されています。



代表的なビフィズス菌

「ビフィズス菌BB536」は、大腸まで届き、腸内フローラ改善による、優れた整腸作用など、さまざまな健康作用が期待されています。

「ビフィズス菌MCC1274」は、認知機能改善作用が期待できることを見出し、研究を重ねているビフィズス菌です。

「ビフィズス菌M-16V」は、乳児の腸内フローラの正常化を促進する機能に着目したビフィズス菌です。腸の機能が未熟な低出生体重の赤ちゃんに投与することで、ビフィズス菌の定着を早めるとともに、腸の正常な発達を促すことが明らかとなりました。

WEB

森永乳業のビフィズス菌研究

▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/bifidus/

Topics

米国で乳児向け食品として安全性が認められています

森永乳業の「ビフィズス菌M-16V」および「ビフィズス菌BB536」は、米国FDA(食品医薬品局)の安全審査制度において、一般食品および乳児向け食品でGRAS*を取得しています。「ビフィズス菌BB536」は一般食品については以前よりGRASを取得していましたが、2019年12月に乳児向け食品でも取得しました。日本企業においてビフィズス菌でGRASを取得したのは森永乳業のみ(2021年5月19日時点)です。

* GRAS

Generally Recognized As Safe. 米国にて新規に使用される食品原料に関して、該当素材の食品素材としての安全性を専門家が評価し、素材の特徴、製造工程、品質管理、製品スペック、使用実績、臨床試験結果等の項目が検討されます。米国で1958年以降の新規食品素材を販売するためには、GRASが必要になります。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

健康寿命延伸への寄与

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

➤ **森永乳業の栄養機能性素材**

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

「ラクトフェリン」

森永乳業では1960年代前半よりラクトフェリン研究を続けています。ラクトフェリンは、多くの哺乳動物の乳をはじめ、涙や唾液などにも含まれる「たんぱく質」です。赤ちゃんをさまざまな感染症から守っているものと考えられており、鉄分と結合しやすい性質を持つことからラクト（乳）とフェリン（鉄）をつなげて名づけられました。

ラクトフェリンを配合した製品開発においては1986年、育児用ミルク「森永BF-L ドライミルク」を販売しました。現在では育児用ミルクにとどまらずラクトフェリン入りのヨーグルトやサプリメントを販売し、赤ちゃんから高齢者の毎日の健康をサポートしています。



WEB

森永乳業のラクトフェリン研究
▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/lactoferrin/

Topics

高純度なラクトフェリンを製造する MILEI 社

スイスとの国境に近いドイツ南部のロイトキルヒ市に位置する「MILEI GmbH（ミライ社）」は1972年に設立され、約50年の歴史を持っています。現在では、ホエイたんぱく質、ミルクたんぱく質、乳糖、ラクトフェリンなどの原料乳素材を欧州やアジアをはじめとした世界各地でグローバルに展開し、さまざまなメーカーへ供給しています。ラクトフェリンについては1989年に製造を開始して以降、高純度の製品を安定的に製造、販売しており、多くのユーザーから高い評価を得ています。近年、ラクトフェリンへの関心が世界的に高まっており、ラクトフェリン製造量の世界トップメーカー※として、さらなる増産に積極的に取り組むとともに安定供給に努めています。

※ Absolute Reports社2020年データ

「ペプチド」

牛乳には良質なたんぱく質が含まれており、育児用ミルクなどに使用されていますが、牛乳アレルギーのあるお子さまは利用できませんでした。そこで、酵素によって消化させた「ペプチド」（乳たんぱく質分解物）を開発しました。

1977年にペプチドを配合したアレルギー疾患用ミルク「MA-1」を発売しました。さらに、半世紀以上にわたる育児用ミルク開発の技術・知識・経験を重ね、融合し、1994年にミルクのアレルゲン性に配慮した「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」も発売しました。

近年では、ペプチドの生理的機能性に着目し、カゼイン由来のトリペプチド（3つのアミノ酸がつながったペプチド）である「MKP[®]（メチオニン-リジン-プロリン）」を開発しました。MKPは血圧が高めの成人の血圧（収縮期血圧）を低下させる効果や非認知症者の認知機能の一部を改善する効果が確認されています。

WEB

森永乳業のペプチド研究
▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/peptide/

「ラクチュロース」

ラクチュロースは、牛乳に含まれる乳糖を原料としてつくられる糖類です。森永乳業は、ラクチュロースが腸内のビフィズス菌を増やす効果にいち早く着目し、1960年、ラクチュロースを配合した育児用ミルク「森永Gドライミルク」を発売しました。また、医薬品（便秘薬）としても世界中で広く使われています。

WEB

森永乳業のラクチュロース研究
▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/lactulose/

